

北奥羽ワイド



日展入選作(下)などを展した
宮古文雪さん

「日展」入選作品など展示

書道家・宮古さんが個展

八戸

八戸市の書道家宮古文雪さん(59)の個展が31日、八戸市芸術分野などで師弟関係の在りの「はっち」で始まった。日最大級の公募による総合美術展「改組新 第3回日展」に入選した作品など45点を展示している。

宮古さんは1980年に書道研究会「蒼心会」(八戸市)を立ち上げ、代表を務める。市内での個展は10回目。受賞作品は、古代中国の詩人王漁洋の漢詩を表した横の長さ4尺にわたる大作「王漁洋詩」。約4カ月の期間を経て完成した。受賞について、

宮古さんは「目標にしていたのでうれしかった」と語る。会場には受賞作品をはじめ、芸術分野などで師弟関係の在り方を示す言葉を書いた「守破離」といった力作がずらりと並ぶ。宮古さんは「自分が書道に携わってきた年月が伝わる展示になれば」とPR。今年で還暦を迎えるが、「これから、新しい表現を生み出せるよう研さんしていきたい」と話していた。

(小林彩乃)